

松本 竜「おれんじとオリオン」

長時間露光を利用して列車の動きを表現しています。「おれんじ鉄道が前へ進んでいく」イメージを持たせる表現です。星もうまくとらえていますが、雲が良いアクセントになっているところも見逃せません。

金子真司「シリアスに～おれ鉄～」

画像処理の結果、非現実的な風景となっています。レタッチはやりすぎると嫌みが出てしまいますが、この写真は現実の姿に不思議な雰囲気を残すような程度で終わらせているところ絶妙です。

上村和也「蓮華草とおれんじ鉄道」

季節感が良く出ている写真です。蓮華草と桜の間に良い位置で車両を置いています。若干、絞りが浅い気がしますが、それを打ち消すだけの美しさがあります。

宮嶋久義「トンネルぬけるモン」

トンネルに入っていく瞬間を良いタイミングでとらえています。前方に繋がるレールのカーブが写真に変化と動きを与えています。まとまりがある中に動きがある良い写真です。

瀬戸口 誠「夏の日」

青空と白い雲が印象的な1枚です。季節感が良く出ています。列車の色も青ですが、この場合は統一感があって良いと思います。ただ、画像処理によって色合いがきつくなってしまったのが残念です。

原園一則「水田鏡」

とにかく、おれんじ鉄道と地域の繋がりを感じさせる1枚です。沿線風景を良くとらえています。美しい風景と、おれんじ鉄道の車両が良くマッチングしています。

吉田重彦「仕事帰りかな^^」

初めて見たときに、くまモンに足が・・・とってしまいました。思わず笑える写真です。帰宅の途につく利用者の方々を和ませる取り組みが行われている車内を感じさせます。

上村和也「おれんじ」

太陽が沈む直前に走ってくる列車、夕暮れの色と白い車両の色が印象的です。列車の位置も良く、送電線とレールも含めて画面全体に動きと奥行きを感じさせています。

萩永聖二「明日への光」

夕暮れの色とそれに染まった川面、そこにかかる鉄橋を渡る列車のライト、よくまとまった印象的な作品です。肉眼では見られない色の表現が素晴らしいと思います。